II 令和6年度事業実施状況

食品の安全・安心への関心が高まる中、更に、畜産経営の大規模化、豚熱及び口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザの発生や海外からの家畜伝染病侵入の危険性が増大する等、畜産情勢が変化する中で、安全な畜産物の供給と畜産経営の安定を図るためには、家畜衛生対策を適切かつ円滑に推進することが重要である。

家畜保健衛生所では、家畜伝染病の発生予防と家畜疾病による損耗を防止するための予防衛生対策を講じるとともに、生産段階における家畜の飼養衛生管理基準遵守の徹底を推進するなど、状況の変化に的確に対応しながら各種事業を実施している。

1 家畜伝染病予防事業

家畜伝染病予防法（昭和26年法律第166号 以下「予防法」）の規定に基づき、家畜伝染病及び家畜伝染性疾病の発生とまん延を防止し、家畜飼養者をはじめ、獣医師、市町、関係団体等と連携し家畜防疫体制の強化を図る。

(1) 主な検査と対象家畜

予防法第5条の規定に基づく発生予防又は発生予察のため、主に以下の検査を実施した。

ア ヨーネ病

(ア) 搾乳の用に供し、又は供する目的で飼育している牛及びその同居牛

(イ) 繁殖の用に供し、又は供する目的で飼育している肉用雌牛

イ 高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザ

100羽以上鶏を飼養している農場のうち、家畜保健衛生所長が選定した農場で飼養されている鶏

ウ 腐蛆病

管内に飼育されている蜜蜂であって、家畜保健衛生所長が必要と認める蜜蜂

エ 牛のアカバネ病、ブルータング

未越夏でワクチンを接種していない牛

その他、公共牧場に放牧された乳用牛や肉用牛に対する定期的な衛生検査（臨床検査、血液検査、寄生虫検査）及び牛体消毒等、養豚場の清浄性を確認・維持するための豚熱、オーエスキー病等の検査、監視伝染病の疑いのある家畜及び不明疾病に対する病性鑑定等を実施した。

(2) 主な検診・検査等の概要

事業名	区分	実績 (頭羽群数)	検査結果(頭羽群数)			備考
			陰性	疑陽性	陽性	
検診・検査	牛のブルセラ症	1	1	0	0	
	牛の結核	0	0	0	0	
	牛のヨーネ病	18,456	18,439	0	17	告示 9,865頭 告示外 8,591頭
	ピロプラズマ症	830	808	0	22	放牧予定牛 683頭 放牧牛 147頭
	牛伝染性リンパ腫 (EBL)	5,116	3,616	0	1,500	抗体検査 4,130頭 遺伝子検査 986頭
	牛ウイルス性下痢 (BVD)	14,496	14,449	0	47	抗体検査 4,609頭 遺伝子検査 9,887頭
	アカバネ病	112	112	0	0	告示 112頭
	ブルータング	62	62	0	0	告示 62頭
	牛伝染性疾病検査	143,643	143,643	0	0	延べ頭数
	牛海綿状脳症(採材)	0	0	0	0	
	馬伝染性貧血	5	5	0	0	告示外
	馬パラチフス	7	7	0	0	告示外
	馬伝染性疾病検査	86	86	0	0	馬インフルエンザ等
	豚熱	4,564	1,248	408	2,908	免疫付与状況確認検査 4,564頭 病性鑑定 491頭
	オーエスキー病	413	413	0	0	飼養豚 205頭 野生イノシシ 208頭
	豚繁殖・呼吸障害症 候群 (PRRS)	2,653	1,388	0	1,265	抗体検査 2,538頭 遺伝子検査 95検体 遺伝子解析 20検体
	豚伝染性疾病検査	352,159	352,159	0	0	
	高病原性鳥インフルエンザ 低病原性鳥インフルエンザ	260	260	0	0	告示 210羽 告示外 50羽
	鶏伝染性疾病検査	2,417,772	2,417,772	0	0	鳥インフルエンザ、 ニューカッスル病等
	腐蛆病	1,011	1,011	0	0	告示 819群 告示外 192群
	その他	着地検査	4	4	0	0

(3) 家畜伝染病予防法第5条に基づく検査

ア 乳用雌牛のヨーネ病検査

※平成27年度から管内を5つの地域に区分し、5年で1巡するように実施

同居の肉用繁殖雌牛も同時に実施

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計	
検査戸数 (農場数)	3	50	1	0	2	56	
検査頭数	乳用牛	118	5,957	103	0	93	6,271
	肉用牛	0	453	0	0	0	453

【検査成績】 6,723頭陰性、1頭陽性

イ 肉用雌牛のヨーネ病検査 (酪農家の飼養牛を除く)

※平成27年度から管内を5つの地域に区分し、5年で1巡するように実施

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	81	0	0	1	0	82
検査頭数	1,191	0	0	1,269	0	2,460

【検査成績】 2,459頭陰性、1頭陽性

ウ 放牧予定牛のヨーネ病検査

※公共牧場に入牧予定の乳用育成牛及び肉用雌牛を検査

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	14 (和牛5戸含)	22 (和牛1戸含)	6	7	2 (和牛1戸含)	51
検査頭数	128 (和牛40頭含)	347 (和牛10頭含)	98	80	25 (和牛7頭含)	678

【検査成績】 全頭陰性

エ 種畜 (種雄牛) のヨーネ病検査

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	0	0	0	1	0	1
検査頭数	0	0	0	3	0	3

【検査成績】 全頭陰性

オ アルボウイルス感染症サーベイランス

病名	戸数	頭数	6月		8月		10月		11月	
アカバネ病検査 (抗体)	9	112	<2	2≤	<2	2≤	<2	2≤	<2	2≤
			26	2	28	0	28	0	28	0
ブルータンク検査 (遺伝子)	9	62	-	+	-	+	-	+	-	+
			3	0	3	0	28	0	28	0

※ 大田原市3戸、那須塩原市2戸、那須烏山市1戸、那須町2戸、那珂川町1戸で実施

カ 蜜蜂の腐蛆病検査

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
検査戸数	6	10	3	1	3	23
検査群数	108	609	47	23	32	819

【検査成績】 全例陰性

キ 高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザ

(ア) 定点モニタリング検査

毎月1回、管内の3農場において、6週齢以上の鶏10羽のウイルス分離検査と血清抗体検査を実施した（ウイルス分離検査は県央家畜保健衛生所家畜衛生研究部で実施）。

対象農場	検査内容	検査成績
3戸 (那須塩原市、那須町)	ウイルス分離 (気管スワブ、クローカスワブ) 血清抗体検査	全例陰性

(イ) 強化モニタリング検査

4月から5月及び10月から3月にかけて、管内4農場の鶏各10羽について、各農場1回血清抗体検査を実施した。

対象農場	検査成績
4戸 (那須塩原市2戸、那須烏山市1戸、 那珂川町1戸)	全例陰性

(4) 家畜伝染病予防法第6条に基づく予防接種

ア 放牧予定牛におけるワクチン接種

牧場における感染症のまん延防止のため、放牧予定牛を対象として、入牧前にワクチン接種を実施した。

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	合計
接種農場数 (実数)	23	44	7	12	2	88
接種農場数 (延数)	48	121	18	30	6	223
接種頭数 (実数)	183	638	110	133	18	1,082
接種頭数 (延数)	183	638	110	133	18	1,082

イ 豚熱ワクチン接種

豚熱の発生予防のため、管内養豚農場を対象として、離乳豚及び繁殖豚に継続的にワクチン接種を実施した。

市町	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	合計
接種農場数 (実数)	4	12	3	13	4	36
接種農場数 (延数)	195	427	128	364	34	1,148
接種頭数 (実数)	140,443	86,515	62,886	274,150	3,340	567,334
接種頭数 (延数)	140,443	86,515	62,886	274,150	3,340	567,334

(5) 家畜伝染病予防法第51条に基づく検査

ア 牛のヨーネ病検査

牛のヨーネ病防疫対策要領に基づくカテゴリⅡ農場において、清浄化推進のための検査を実施した。

対象農場戸数	検査検体数		検査成績
	抗体検査	リアルタイムPCR検査 (環境材料を含む)	
7戸 (大田原市2戸、那須塩原市3戸、 那須町2戸)	0	6,036	患畜15頭を摘発

清浄性が確認された農場：1戸（那須町1戸）

イ 牛伝染性リンパ腫

抗体検査及び遺伝子検査により農場及び公共牧場の浸潤状況を調査し、衛生指導を実施した。

検査方法	検査頭数	陽性頭数	陰性頭数
抗体検査	4,130	976	3,154
遺伝子検査	986	524	462

ウ 牛ウイルス性下痢（BVD）

抗原・抗体検査及び遺伝子検査により農場の浸潤状況を調査し、衛生指導を実施した。

検査方法	検査頭数	陽性頭数	陰性頭数
中和抗体検査	44	40	4
ウイルス分離	223	4	219
遺伝子検査	9,887	4	9,883
抗原エライザ検査	4,565	3	4,562

(実頭数)

エ 豚熱（CSF）

豚熱ワクチンの免疫付与状況確認のために抗体検査を実施した。

検査戸数	検査頭数	検査成績
39	4,564	＋：2,908 ±：408 －：1,248

オ オーエスキー病

清浄化対策推進のために抗体検査を実施した。

検査戸数	検査頭数	野外抗体 陽性頭数	野外抗体 疑陽性頭数	野外抗体 陰性頭数
13	203	0	0	203

カ PRRS（豚繁殖・呼吸障害症候群）

抗体検査により農場の浸潤状況を調査し衛生指導を実施した。

検査戸数	検査頭数	陽性頭数	陰性頭数
37	2,538	1,223	1,315

キ ニューカッスル病

抗体検査結果をもとに適切なワクチン接種を指導した。

戸数(延)	羽数	抗体陽性羽数	抗体陰性羽数
10	100	100	0

ク 鶏マイコプラズマ病

抗体検査により農場の浸潤状況を調査し、衛生指導を実施した。

病原体名	検査戸数(延)	検査羽数	陽性羽数	疑似羽数	陰性羽数
マイコプラズマ・ガリセプチカム	10	100	79	0	21
マイコプラズマ・シビエ	10	100	90	0	10

ケ 施設園芸用蜜蜂の腐蛆病検査

イチゴハウスで受粉に利用される蜜蜂の検査を実施するとともに、飼養者に対し衛生指導を実施した。

検査戸数	検査群数	検査成績
18戸 (那珂川町)	94	全群陰性

(6) その他の検査

ア 放牧予定牛の検査 (※)

放牧場での伝染性疾病のまん延防止のため、放牧予定牛について各種検査を実施した。

病名	検査頭数	陽性頭数	陰性頭数
EBL(牛伝染性リンパ腫)	736	240	496
ピロプラズマ症	683	20	663
BVD (牛ウイルス性下痢)	1,062	0	1,062

※県内・県外予定牛両方

イ 放牧牛衛生検査

管内3か所の公共牧場において、定期的に放牧牛の衛生検査を行い、各種疾病の早期発見及び早期治療に努めた。

(ア) 放牧状況

区分	大野放牧場 (大田原市)		那須町共同利用模範牧場 (那須塩原市)	
	乳用牛	肉用牛	乳用牛	
EBL対策	EBL陰性牧区	EBL陰性牧区	EBL陰性牧区	EBL陽性牧区
放牧期間	R6. 4. 12～ R6. 11. 6	R6. 5. 9～ R6. 9. 26	～R6. 11	
放牧頭数	22	22	217	0
衛生検査回数	6	6	6	
主な疾病	皮膚真菌症、乳頭腫		皮膚真菌症、光線過敏症 乳頭腫、趾間腐爛	
備考			周年預託牛のみ新規入牧なし	

※八郎ヶ原放牧場 (休牧中)

(イ) 衛生検査検査成績

a ピロプラズマ症

(陽性頭数/検査頭数)

牧場名	4月	5月	7月	8月	9月	10月
大野放牧場	—	0/8	0/10	0/10	0/11	0/9
那須模範牧場	—	0/20	0/19	0/20	1/20	1/20

ウ 家畜伝染病予防法第52条に基づく報告徴求

高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザの発生予防対策として、管内の家きん100羽以上(だちょうは10羽以上)を飼養する農場から毎月1回、1か月間の死亡羽数及び産卵率の報告を求めた。

(7) 病性鑑定

原因不明の疾病について、獣医師や飼養者からの依頼により、原因究明の検査及び防除のための衛生指導を実施した。

ア 市町別の病性鑑定件数及び頭羽数（総件数：延べ 137 件 総頭羽数：延べ 493 頭羽）

畜種	大田原市		那須塩原市		那須烏山市		那須町		那珂川町		計	
	件数	頭羽数	件数	頭羽数	件数	頭羽数	件数	頭羽数	件数	頭羽数	件数 ***	頭羽数
乳用牛	2	6	24	78	2	2	6	15	0	0	34	101
肉用牛	15	25	56	89	2	6	9	10	4	5	86	135
馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豚	0	0	8	166	0	0	3	36	0	0	11	202
めん山羊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鶏	0	0	1	13	0	0	4	41	0	0	5	54
その他*	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1
計	17	31	89	346	4	8	23	103	4	5	137	493

*その他：牛、馬、豚、緬山羊、鶏以外の家畜、又は環境材料 等

**計：複数畜種を検査した場合、別々に計上

イ 市町別の病性鑑定検査材料別の検体数

(総検体数：616 検体)

検査材料	大田原市	那須塩原市	那須烏山市	那須町	那珂川町	計
糞便	26	119	2	18	4	169
死体及び生体	1	48	1	31	0	81
血液	7	163	7	35	1	213
その他*	5	62	5	81	0	153
計	39	392	15	165	5	616

*その他：鼻腔拭い液、敷料、環境ふきとり等

【令和6年度の病性鑑定で診断された主な疾病】

下表に示すように、様々な疾病が確認されました。（下線は監視伝染病）

畜種	症状	疾病名
牛	下痢症	牛ロタウイルス病、牛コロナウイルス病、クリプトスポリジウム症、牛コクシジウム症、牛トロウイルス病、 <u>牛サルモネラ症</u> 等
	呼吸器病	牛コロナウイルス病、牛RSウイルス病、牛マンヘミア症、牛マイコプラズマ肺炎、牛パラインフルエンザ(3型)、インフルエンザD型による疾病等
	その他	<u>サルモネラ症(牛)</u> 、 <u>牛丘疹性口内炎</u> 、クロストリジウム属菌による突然死、腹膜炎、第四胃潰瘍、腸捻転 等
豚	死亡数増加 急死等	<u>豚熱</u> 、 <u>豚繁殖・呼吸障害症候群(PRRS)</u> 、ヘモフィルス・パラスイス感染症(グレーサー病)、豚回虫症、豚胸膜肺炎
鶏	下痢症	鶏コクシジウム症、鶏クロストリジウム・パーフリンゲンス感染症